

活かしたい、公認指導員資格

東京都ダンススポーツ連盟 牛込恵子



狛江市ダンススポーツ連盟の皆さん、前列中央は丸山信子会長

◆この初心者講習会は、どのようなきっかけで始まったのですか？

実は以前はプロの講師による初心者講習会を長年続けておりました。平成12年度、JDSF公認指導員制度の発足に伴い、狛江市連盟でも13名が認定を受けました。せっかく資格を頂いたのに活かす場がないという声が、会員の中からもありまして、翌平成13年度から自分たちで講習会をやってみることにしました。

◆受講者の募集はどのようにされましたか？

市の広報紙と、会員さんの口コミです。自分たちで手作りのチラシを作り、公民館に置くというようなこともあります。お蔭様で平成13年度は月平均43名、平成14年度は月平均42名、今年度も同様の参加があります。

◆講習種目は何ですか？

スタンダードはブルース、ワルツ、タンゴ。ラテンはジルバ、マンボ、ルンバ、チャチャチャです。朝9時から10時が初級、10時10分から11時15分が中級と2クラス制です。基本を重視し、初級はJDSF規程フィギュアを題材としています。

◆指導員の役割分担はどうなっていますか？

指導員（コーチと呼ぶ）は月の担当をミーティングで決め、他の指導員はアシスタントとして受講者の相手役になって一緒に踊ります。競技会とか冠婚葬祭等で都合の付かないとき以外は、みんな出席してくれています。指導員にも出席簿があるのであります。

!!それはすごい協力体制ですね。会長さんのリーダーシップと連盟の事業に協力しようという会員さんの心意気が感じられます。それでも毎週日曜日の朝9時からとは、みなさんよく頑張ってくれていますね。組織力の底力を見る思いです。狛江のキーワードはチームワークですね。

◆指導技術のノウハウは？

これが一番困りました。今まで習うことばかりだったので、どういうふうに指導すればよいのかの技術が無く、ミーティングで講習内容を綿密に打ち合わせしました。最初は不安だらけでしたが、ペースに乗ってみると、指導員自身も講習会で教えることに興味が湧いてきて、楽しく、そして人様に教える為には、自らきちんとベーシックを確認するようになり、自分の為に非常に勉強になっていると思います。実は、私は日本舞踊の名取りで、娘の頃からお弟子さんを取り、自宅のお稽古場でお教えしてきました。ジャンルは違っても、お稽古に対する気持ちは共通なのかもしれません。日曜日のダンスの講習会も、私が居ると居

ないとでは、空気が違うと言われています。（笑）。
!!やっぱり会長には空気がピシッと引き締まるような存在感があるのかもしれませんね。

それから、資格の年度更新料については、狛江市の場合、公認指導員全員がこの事業に参加してくれていますので、連盟から支出しています。

!!なるほど、これは連盟の事業に実働してくれている指導員さんへのメリットですね。

◆この活動の効果のほどは？

この講習会を始めてから、指導員にも自覚が出てきて、普段のサークル活動の場でも、先生がおいでになるまでの間に後輩の面倒をみたりするようになりました。この講習会のメンバーが、サークルを作り、指導員がコ

ーチャーになって、そろそろ連盟の加盟団体になろうかという話もでてくるようになっていているのは嬉しいことです。会員の底辺拡大には、初心者講習会が一番現実的に効果のある事業ですし、幸いにして狛江は本当に会員のチームワークが良いので、これからも頑張って行きたいと思っております。

<インタビュー感想>

会員の拡大にはゼロからスタートする初心者講習会を開くのが一番とわかってはいても、なかなか取り組めないのは、やはりいつも忙しい役員諸氏の辛いところ。でもこれだけ毎回10数人の指導員が協力してくれるとは頼もしい限りです。組織が資格を持っている会員さんをしっかりと把握していて、会長の鶴の一声で連盟の提唱する事業へこれだけの協力を引出せるというのは、本当に本人のご人徳と素晴らしいカリスマ性であると感服しました。全国の地域役員の皆さん、まず地元のJDSF公認指導員資格者と話し合ってみませんか。役員だけでは手が廻らない事業を手伝ってもらって、指導員自身にも修行の場を与えて下さい。もちろん指導員資格を持つ人の中にはサークル指導のベテランも含まれています。そのような中核になってくれる人材がいるなら、そのアシスタントを務めてもらえば、ペーパードライバー指導員にも実地訓練の場を提供することができます。役員は忙しそうです。手伝ってくれる協力者を増やしませんか!!

